

組 織

公益社団法人 日本技術士会 長野県支部組織図

支 部 役 員 会	
支 部 長	有賀 良夫
副支部長	沖村 陽一
"	齊藤 精徳
"	牧垣 壽志
会計幹事	宇井 経雄
"	高藤 亨仁
幹 事	小口 雄平
"	久保 秀和
"	小林 雄二郎
"	塩沢 一久
"	高橋 賢士
"	伴野 節男
"	溝口 豊
"	森 多毅夫
"	柳澤 廣文



長野県支部部門別会員数構成表 (平成26年3月末現在)		
正会員数		
No.	技術部門	人数
1	機械部門	12
2	船舶・海洋部門	0
3	航空・宇宙部門	0
4	電気電子部門	8
5	化学部門	2
6	繊維部門	0
7	金属部門	4
8	資源工学部門	0
9	建設部門	82
10	上下水道部門	12
11	衛生工学部門	1
12	農業部門	7
13	森林部門	11
14	水産部門	0
15	経営工学部門	6
16	情報工学部門	4
17	応用理学部門	15
18	生物工学部門	1
19	環境部門	6
20	原子力・放射線部門	0
21	総合技術監理部門	37
部門別の合計数		208
正会員数		151

※複数部門の資格保持者がいるため部門別合計数と正会員数で差があります。



「飯縄山より臨む高妻山の雄姿」撮影：林正昭会員



長野県支部

平成26年度版

技術相談・支援にお応えします

長野県支部には、現在15部門の高等な専門的応用能力を有する技術士がおります。技術的な相談や業務の技術的支援にお応えできるネットワークと態勢を整えております。

ぜひ日本技術士会長野県支部にお声を掛けて下さい！

公益社団法人日本技術士会 長野県支部連絡先

長野県支部事務局

〒380-0815 長野市大字鶴賀田町2396番地1

TEL 026-238-2368 / FAX 026-238-2369

E-mail : penagano@penagano.org

基本理念

“技術者倫理に基づき、技術士の資質の継続研鑽に努め、地域社会に対する貢献を通して国民経済の発展に寄与する”

公益社団法人日本技術士会長野県支部として新発足

日本技術士会は平成23年4月11日公益社団法人に移行し、新定款の発効により県支部設置が可能となりました。長野県については、県内正会員123名（平成23年3月31日現在）の中から44名（35.8%）の発議を得て、平成23年11月10日の理事会において「公益社団法人日本技術士会長野県支部」の設置を決定いたしました。

その後、幹事選出選挙、支部長選任を経て、平成24年4月22日に第1回長野県支部役員会が招集され、具体的活動を開始するに至っています。

公益社団法人日本技術士会は、「行動し発信する日本技術士会」として「社会に向けた情報発信の強化」、「技術士の活用促進」、「社会貢献活動の推進」、「国際活動の強化」を基本方針として「会員活動の充実と入会率の向上」を図るとともに指定事業の的確な運営をすることを目標に活動しています。

長野県支部においても、この方針の基に、以下の基本理念、運営方針に基づき事業を計画し実行するものであります。

運営方針

1. 支部として本会事業を円滑に実施するため、情報発信を強化し会員相互の理解を深め、連携、協調して諸活動の活性化に努めると共に、本会の事業実施の基盤となる会員の拡大に注力する。
2. 県内の官公庁始めその関連団体並びに一般企業に対して、技術士制度の普及啓発に努め、若手技術者の育成支援協力を積極的に行う。
3. 官民を問わず異分野、異業種との連携を深めて広く人的交流を図り、技術士業務の開発及び活用の促進を図る。
4. 官公庁及び関連団体に対し、科学技術に関する行政施策についての協力並びに提言を行い、調査研究等に積極的に参画する。
5. 技術士の有する技術的応用能力や知見を活かし、科学技術を通じ社会貢献活動、国際交流活動を活発に実施する。

支部長挨拶

公益社団法人日本技術士会の地域組織の充実・強化を目的とし、長野県支部が平成23年11月に認められました。支部設立においては、関東8県との勉強会を通じて各県からのご支援及び本部のご理解を得る等、皆さま方に、大変お世話になりましたことを厚くお礼申し上げます。

さて、支部設立までの経緯は、平成14年の長野県技術士会の立ち上げ、平成21年の本会との連携関係があります。長野県支部以前の県技術士会は、単独の組織であったため活動・運営面において限界がありました。そのため、地域組織の強化を図るため、平成23年に長野県を含む関東8県は県支部を設立し、公益社団法人日本技術士会の組織に入りました。

日本技術士会は21の部門からなる異業種の技術者集団、所謂ミックスハウスであります。県支部の設立を機に、公益社団法人の一員として、ガバナンスの確保と活動の拡大・活性化を図ります。

それにむけて会員相互はもちろん、本部・他支部との連携、県・市等の行政機関、民間の団体、大学・高専等の教育機関をはじめ、地域・報道のお力をお借りし、異業種交流のもと運営の強化に努めます。県支部はまだまだ小さな団体ですが、職業倫理、技術者倫理を備え、技術の研鑽と地域貢献を大きな課題として進みます。

長野県技術士会として、ご支援いただきましたお礼と、発足しました公益社団法人日本技術士会長野県支部の皆さまの益々のご支援をお願いいたし、支部長の挨拶とさせていただきます。



長野県支部支部長 有賀良夫

「技術士の資質向上」を目指した技術士CPD（継続研鑽）

技術士は、高等の専門的応用能力を有した技術者として、CPD（継続研鑽）に努めることが必要です。長野県支部では、長野県内のを4つのブロックに分けてCPD事業を計画しています。ぜひ、長野県支部のCPD事業にご参加してみてください。

※北信・中信・東信・南信の各地区ブロック会は、年1回以上必ず開催されます。

長野県支部における主な講演会（平成25年度）

日時	演題	講師
平成25年7月	環境問題の今	土木・環境しなの技術支援センター理事 小口 雄平
平成25年9月	生物多様性の意味を考える～ツキノワグマを例に	長野県環境保全研究所自然環境部長 岸元 良輔
平成25年11月	松くい虫から山を守る	松本市農林部耕地林務課 伊藤 明子
平成25年12月	野生鳥獣から田畑を守る	松本市農政課 八田 洋樹
平成26年1月	風景からのまちづくり	国立大学法人東京工業大学名誉教授 中村 良夫
平成26年3月	誰でも解るiPS細胞	独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター小児科医長 辻 浩一郎
	技術士に望まれるもの、長野県支部のめざすもの	日本技術士会長野県支部支部長 有賀 良夫
	長野県における自然再生エネルギー利用の現状と将来、そして技術士の役割	NPO法人CO2バンク推進機構理事長 宮入賢一郎

長野県支部における主な見学会（平成25年度）

日時	見学場所
平成25年9月	浅川ダム、長野県環境保全研究所



最先端技術を学ぶ「シリーズ第1回（平成24年度）
「エキゾチック・ナノカーボンが物質の世界を変える」
信州大学地域卓越研究室 野口徹教授



「長野県における再生可能エネルギー
利用の現状と将来、そして技術士の役割」
NPO法人CO2バンク推進機構理事長 宮入賢一郎氏



「風景からのまちづくり」
国立大学法人東京工業大学名誉教授 中村良夫



「生物多様性の意味を考える～ツキノワグマを例に」
長野県環境保全研究所自然環境部長 岸元良輔氏



浅川ダム現場見学



「山村・野生の脅威から
くらしを守る」
松本市農林部耕地林務課、農政課



「環境問題のいま」
土木・環境しなの技術支援センター理事
小口雄平氏



第1次、第2次合格者祝賀会